

機 能 要 件 一 覧 表

No	大分類	中分類	機能要件	必要性
1	基本設計	ドリル機能	ID及びパスワードを交付された児童生徒が、1人1台端末を通じて問題にアクセスし、個別学習に取り組むためのAIドリル機能を有すること。	必須
2	基本設計	ドリル機能	個別学習に取り組んだ児童生徒が、各個人の学習理解度に応じた問題に取り組むことができること。	必須
3	基本設計	テスト機能	単元確認テストに活用可能なCBT（Computer Based Testing）によるテスト機能を有すること。	必須
4	基本設計	テスト機能	小学校のまとめテスト及び中学校の定期テストの問題を作成する機能又は当該テスト問題の一例を示す機能を有すること。	必須
5	基本設計	システム	AIドリル機能及びテスト機能には、同一のID・パスワードにてログインが可能であること。	必須
6	基本設計	システム	教科書改訂の際は、契約期間内において、無償で対応すること。	必須
7	基本設計	システム	一人一人の学習履歴が自動的に蓄積され、教員が個別最適化された学習支援に活かしやすいこと。	必須
8	基本設計	システム	契約期間中のバージョンアップは無償であること。	必須
9	基本設計	システム	Googleアカウントとシングルサインオン連携していること。	必須
10	出題範囲	ドリル機能	AIドリル機能に収録されている教材は、文部科学省学習指導要領に準拠していること。	必須
11	出題範囲	ドリル機能	小学校版は小学1～6年生の国・算・理・社・英、中学校版は中学1～3年生の国・数・理・社・英を収録し、本市が採用する教科書内容に沿って学習ができること。 また、児童生徒が自身の学年のみならず、すべての学年の問題に取り組むことができること。	必須
12	出題範囲	ドリル機能	英語の問題は、リスニングやスピーキングにも対応していること。	要望
13	出題範囲	ドリル機能	小学校及び中学校を合わせて50,000問以上の問題を収録していること。	必須
14	出題範囲	ドリル機能	各教科において、基礎基本的な内容及び発展的な内容の問題等、難易度別に問題が用意されていること。	必須
15	出題範囲	ドリル機能	テキストや数字・数式、図表、イラスト等を活用して出題及び説明がされ、学習意欲が向上するような工夫を導入する等、児童生徒が興味・関心を有し、主体的に取り組むことのできる内容であること。	必須
16	出題範囲	ドリル機能	過去の学習履歴から効果的に復習できる問題を自動抽出・出題できること。	必須
17	出題範囲	ドリル機能	間違えた問題のみに再度取り組める機能を有すること。また、問題の取組途中で中断しても、続きから再開できる機能を有すること。	必須

No	大分類	中分類	機能要件	必要性
18	出題範囲	ドリル機能	児童生徒が学習に取り組む過程において、自ら選択した問題又は教員が配信した問題、ソフトウェア内で診断した学習理解度に応じた問題に取り組めること。	必須
19	出題範囲	ドリル機能	A I を活用した誤答に基づく出題がされること。また、過去の学習履歴を踏まえて復習機能もA I 機能で個別最適化されていること。	必須
20	出題範囲	ドリル機能	教員は、児童生徒に対してオンラインで個別に問題を配信して、個々の児童生徒の習熟度に応じた問題に取り組ませることができること。	必須
21	出題範囲	ドリル機能	問題に不正解した際、不正解した問題が解けるようになるため、児童生徒の習熟度に合わせたフォロー問題、類題を出題すること。また、段階的な知識定着を促すため、学習の流れに合わせた問題構成で出題するとともに、児童生徒の習熟度に合わせた適切なタイミングで学習内容の解説を表示すること。	必須
22	出題範囲	ドリル機能	中学校版は、過去の高校入試問題を出題できること。	必須
23	出題範囲	ドリル機能	教員が任意の問題を選択し、宿題として配信する仕組みを有すること。このとき、クラス内に一斉、もしくは個人別に配信を行うことができること。また配信に際しては、単元をまたいだ該当範囲、取組時間を設定し、児童生徒の学習状況に応じた課題を自動生成して配信する機能を有すること。	要望
24	出題範囲	ドリル機能	教員自身で問題を登録できる仕組みがあること。	必須
25	出題範囲	ドリル機能	日本漢字能力検定、実用英語技能検定及び実用数学技能検定に対応できる対策コースを搭載していること。	要望
26	出題範囲	テスト機能	テスト機能に収録されている教材は、文部科学省学習指導要領に準拠し、本市が採用する教科書に対応していること。	必須
27	出題範囲	テスト機能	教員自身がオリジナルの問題を作成できるほか、既存のテストから問題をカスタマイズするなど、自由にテスト・問題を作成することができ、配点や評価観点も変更できる仕組みがあること。	必須
28	出題範囲	テスト機能	教員が作成したテストについて、教員同士（他校含む）や教育委員会と共有することができること。	要望
29	出題範囲	テスト機能	教員又は教育委員会が作成したテスト問題を、市内小学校又は中学校に一斉配信できること。	要望
30	解答・採点	ドリル機能	手書き入力（文字・数字・数式）、選択肢、穴埋め等複数の解答パターンを有し、問題特性に対応した解答を行うことができること。	必須
31	解答・採点	ドリル機能	手書き入力、キーボード入力の解答にも対応していること。	必須
32	解答・採点	ドリル機能	漢字問題では手書き認識エンジンを搭載し、ユーザーの字形や筆順に対して自動フィードバックを行うこと。	要望
33	解答・採点	ドリル機能	児童生徒が解答した内容に対して自動採点を行うことができること。	必須

No	大分類	中分類	機能要件	必要性
34	解答・採点	ドリル機能	解答内容に応じて解説が表示されること。文字、数字・数式、図解、グラフ等の問題特性に応じた解説が分かりやすく表示されること。	必須
35	解答・採点	テスト機能	選択肢(単答)、選択肢(複答)、分類、記述式(直接入力式/キーボード入力式 選択可)、数値入力(直接入力式/キーボード入力式 選択可)等の解答パターンを有し、問題特性に応じた解答パターンを表示すること。	必須
36	解答・採点	テスト機能	解答に関する操作とは異なる操作をした際に、不正抑止を目的とした通知を児童生徒側、教員側にそれぞれ表示させる機能があること。	必須
37	解答・採点	テスト機能	テスト受験中にネットワークが繋がらなくなってしまう際も、児童生徒が解答を続けることができる機能を有すること。	必須
38	解答・採点	テスト機能	採点において、部分点に対応していること。	要望
39	解答・採点	テスト機能	設問ごと、児童生徒ごとに切り替えて採点ができること。	必須
40	解答・採点	テスト機能	選択式問題、短答問題及び数式問題については自動採点機能に対応していること。	必須
41	解答・採点	テスト機能	テストの結果について、各クラスの児童生徒ごとに、テストの得点率や平均得点率の一覧をCSV形式で出力できること。	必須
42	解答・採点	テスト機能	学校ごとや市内全体のテストの結果について、教育委員会が一括して把握できること。 ※テストの設問ごとの得点率（正答率）を含む。	要望
43	学習履歴の蓄積・分析・活用	ドリル機能	教員が、児童生徒の取組状況をリアルタイムに把握でき、指導等に生かすことができる仕組みを有すること。	必須
44	学習履歴の蓄積・分析・活用	ドリル機能	児童生徒の学習成果物（取り組んだ問題、取り組んだ数、取り組んだ時間、正答率など）は、児童生徒別の学習成果物確認画面に一元的に整理され、普段の指導や学期を通じた評価等に活用することができること。	必須
45	学習履歴の蓄積・分析・活用	テスト機能	単元テスト並びに小学校のまとめテスト及び中学校の定期テストについて、児童生徒個人ごとに、学期ごと及び年間を通じた成績の集計ができること。	要望
46	学習履歴の蓄積・分析・活用	ドリル機能・テスト機能	児童生徒の学習履歴は、個人単位だけでなく、クラス等のグループ単位で集計・集約したものを確認できること。	要望
47	学習履歴の蓄積・分析・活用	ドリル機能・テスト機能	児童生徒の学習成果物をC S V ファイル・E x c e l ファイル等により出力できること。	要望
48	学習履歴の蓄積・分析・活用	ドリル機能・テスト機能	ドリルの学習履歴やテスト結果を保護者にお知らせする機能を有すること。	要望
49	その他	表示機能	学齢に応じて配当漢字に配慮し、画面表示を行う機能があること。	必須
50	その他	表示機能	文字の大きさや画面のデザイン等、児童生徒自身が見やすいように変更することができること。	必須

No	大分類	中分類	機能要件	必要性
51	その他	操作性能	画面構成は、操作を効率的に行えるように配慮し、一貫性のある画面構成、画面遷移、入出力操作方法とすること。また、操作に係る負荷軽減に資する効率的な検索機能やデータ入出力機能を有すること。また、アクセシビリティに配慮したシステムとすること。	必須
52	その他	操作性能	児童生徒及び教員にとって詳細なマニュアル等を見なくても感覚的にログインや解答、管理等の操作ができるインターフェースであること。	必須